

## ご使用開始、または休止に伴う使用料の計算方法について

下水道のご使用を開始または休止されたときは、使用料については下記のような計算となります。

使用料算定期間 (※1)	計算の方法
15 日以下	基本使用料を 1/2 にして 1 ヶ月計算 (※2)
16 日～29 日	1 ヶ月使用料で計算
30 日	1 ヶ月使用料で計算
31 日～45 日	認定量を30日と残りの日数に按分する。(認定量×30日÷使用料算定期間の日数) (認定量が割り切れない場合は、その端数 1 m <sup>3</sup> を残りの日数に加える。) ・30日の認定量 . . . . . 1 ヶ月使用料で計算 ・残りの日数の認定量 . . . . . 基本使用料を 1/2 にして 1 ヶ月計算 (※2)
46 日～59 日	認定量を30日と残りの日数に按分する。(認定量×30日÷使用料算定期間の日数) (認定量が割り切れない場合は、その端数 1 m <sup>3</sup> を残りの日数に加える。) ・30日の認定量 . . . . . 1 ヶ月使用料で計算 ・残りの日数の認定量 . . . . . 1 ヶ月使用料で計算
60 日	2 ヶ月使用料で計算
61 日以上	① 1 ヶ月換算量を求める。 $1 \text{ ヶ月換算量} = \text{認定量} \times 30 \text{ 日} \div \text{使用料算定期間の日数}$ (小数第 4 位以下切捨) ② 1 ヶ月換算量から、1 ヶ月換算使用料を求める。 $1 \text{ ヶ月換算使用料} = 1 \text{ ヶ月使用料で計算}$ (小数第 3 位以下切捨) ③ 1 ヶ月換算使用料から、使用料算定期間の日数の使用料を求める。 $\text{使用料} = 1 \text{ ヶ月換算使用料} \times \text{使用料算定期間の日数} \div 30 \text{ 日}$

(※1) 料金算定期間は、その始期が開栓日の場合は、開栓日から次回定期検針日までの日数とし、休止時の料金算定期間の始期が前回定期検針日の場合は、前回定期検針日の翌日から休止日までの日数となります。

(※2) 下水道のご使用を開始または休止された時などで、使用料算定期間が 15 日以下の場合は、1 ヶ月の基本使用料が半額となります。

### ■計算例 (使用料算定期間が 15 日以下の場合)

[一般用, 隔月検針, 認定量 5 m<sup>3</sup>, 検針期間 7/11～7/21 (開栓～定期検針) 11 日間の場合]

$$\begin{aligned}
 \text{① 下水道使用料} &= 5 \text{ m}^3 \times 27 \text{ 円} + 900 \text{ 円} \\
 &= 1,035 \text{ 円 (速算式 (一般用, 1 ヶ月分) による)} \\
 \text{基本使用料が 1/2 となるので} & 1,035 \text{ 円} - 900 \text{ 円} \times 1/2 \\
 &= 585 \text{ 円} \\
 \text{② 消費税等相当額} &= 585 \text{ 円} \times 0.08 \\
 &= 46 \text{ 円 (1 円未満切捨)} \\
 \text{①} + \text{②} &= \underline{\underline{631 \text{ 円}}}
 \end{aligned}$$

■計算例（使用料算定期間が16日以上29日以下の場合）

〔一般用，隔月検針，認定量5 m<sup>3</sup>，検針期間7/10～8/1（開栓～定期検針） 23日間の場合〕

$$\begin{aligned} \text{①下水道使用料} &= 5 \text{ m}^3 \times 27 \text{円} + 900 \text{円} \\ &= 1,035 \text{円} \text{（速算式（一般用、1ヶ月分）による）} \\ \text{②消費税等相当額} &= 1,035 \text{円} \times 0.08 \\ &= 82 \text{円} \text{（1円未満切捨）} \\ \text{①} + \text{②} &= \underline{1,117 \text{円}} \end{aligned}$$

■計算例（使用料算定期間が31日以上45日以下の場合）

〔一般用，隔月検針，認定量29 m<sup>3</sup>，検針期間6/2～7/8（定期検針～休止） 36日間の場合〕

$$\begin{aligned} \text{①下水道使用料} & \\ \text{ア) 30日分の認定量} &= 29 \text{ m}^3 \times (30 \text{日} \div 36 \text{日}) \\ &= 24 \text{ m}^3 \text{（1 m}^3 \text{未満切捨）} \\ \text{24 m}^3 \text{で1ヶ月の下水道使用料} &= 24 \text{ m}^3 \times 124 \text{円} - 70 \text{円} \\ &= 2,906 \text{円} \text{（速算式（一般用、1ヶ月分）による）} \\ \text{イ) 残りの日数（6日間）の認定量} &= 29 \text{ m}^3 - 24 \text{ m}^3 \\ &= 5 \text{ m}^3 \\ \text{5 m}^3 \text{で6日間の下水道使用料} &= 5 \text{ m}^3 \times 27 \text{円} + 900 \text{円} \\ &= 1,035 \text{円} \text{（速算式（一般用、1ヶ月分）による）} \\ \text{基本使用料が1/2となるので} &= 1,035 \text{円} - 900 \text{円} \times 1/2 \\ &= 585 \text{円} \\ \text{ア) + イ)} &= 2,906 \text{円} + 585 \text{円} \\ &= 3,491 \text{円} \\ \text{②消費税等相当額} &= 3,491 \text{円} \times 0.08 \\ &= 279 \text{円} \text{（1円未満切捨）} \\ \text{①} + \text{②} &= \underline{3,770 \text{円}} \end{aligned}$$

■計算例（使用料算定期間が46日以上59日以下の場合）

〔一般用，隔月検針，認定量29 m<sup>3</sup>，検針期間6/2～7/18（定期検針～休止） 46日間の場合〕

$$\begin{aligned} \text{①下水道使用料} & \\ \text{ア) 30日分の認定量} &= 29 \text{ m}^3 \times (30 \text{日} \div 46 \text{日}) \\ &= 18 \text{ m}^3 \text{（1 m}^3 \text{未満切捨）} \\ \text{18 m}^3 \text{で1ヶ月の下水道使用料} &= 18 \text{ m}^3 \times 124 \text{円} - 70 \text{円} \\ &= 2,162 \text{円} \text{（速算式（一般用、1ヶ月分）による）} \\ \text{イ) 残りの日数（16日間）の認定量} &= 29 \text{ m}^3 - 18 \text{ m}^3 \\ &= 11 \text{ m}^3 \\ \text{11 m}^3 \text{で16日間の下水道使用料} &= 11 \text{ m}^3 \times 124 \text{円} - 70 \text{円} \\ &= 1,294 \text{円} \text{（速算式（一般用、1ヶ月分）による）} \\ \text{ア) + イ)} &= 2,162 \text{円} + 1,294 \text{円} \\ &= 3,456 \text{円} \\ \text{②消費税等相当額} &= 3,456 \text{円} \times 0.08 \\ &= 276 \text{円} \text{（1円未満切捨）} \\ \text{①} + \text{②} &= \underline{3,732 \text{円}} \end{aligned}$$

■計算例（使用料算定期間が61日以上の場合）

〔一般用，隔月検針，認定量93 m<sup>3</sup>，検針期間7/8～9/12（開栓～定期検針） 67日間の場合〕

①下水道使用料

$$\begin{aligned} \text{ア) 1ヶ月換算認定量} &= \text{認定量} \times 30 \text{日} \div \text{使用料算定期間の日数} \\ &= 93 \text{m}^3 \times 30 \text{日} \div 67 \text{日} \\ &= 41.641791 \text{m}^3 \\ &\rightarrow 41.641 \text{m}^3 \text{ (小数第4位以下切捨)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{イ) 1ヶ月換算使用料} &= 41.641 \text{m}^3 \times 129 \text{円} - 220 \text{円} \\ &= 5,151.689 \text{円} \text{ (速算式 (一般用、1ヶ月分) による)} \\ &\rightarrow 5,151.68 \text{円} \text{ (小数第3位以下切捨)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{ウ) 下水道使用料} &= \text{1ヶ月換算使用料} \times \text{使用料算定期間の日数} \div 30 \text{日} \\ &= 5,151.68 \text{円} \times 67 \text{日} \div 30 \text{日} \\ &= 11,505.41866 \dots \text{円} \\ &\rightarrow 11,505 \text{円} \text{ (1円未満切捨)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{②消費税等相当額} &= 11,505 \text{円} \times 0.08 \\ &= 920 \text{円} \text{ (1円未満切捨)} \end{aligned}$$

$$\text{①} + \text{②} = \underline{\underline{12,425 \text{円}}}$$